

4月、保育園でも学校でも新入生を迎え、希望を胸に新学期がスタートします。

公民館も新年度が始まります。新たに受講生を募集しますので、募集要項を参考にしてお申し込みください。昨年参加された方は、お知り合いの方や隣近所の方をお誘いいただいて、一緒にお申し込みください。

公民館で学習や趣味をとおして仲間をつくり、新たな生きがいにつなげましょう。

天竜川河川敷で雑木の撤去作業

(西春近自治協議会 2月25日)

自治協は、天竜川の昔ながらの風景を取り戻そうと、表木の河川敷で環境整備作業を行いました。

今年は事前に天竜川上流河川事務所が、ニセアカシアなどの大木を切り倒してあり、集まった100人を超える区民は、薪ストーブ用にとチェーンソーを使って玉切りにし、次々に運び出しました。加納会長は「資源を有効に活用したい。木や草が茂っているとシカのすみかになるので、被害対策にもなる」と話していました。

西春近自治協は毎年、こうした河川敷整備作業を行っており、河川管理者の国交省中部地方整備局から河川協力団体の指定を受けています。

「健康と福祉を考えるつどい」を開催

(市健康推進課・西春近社会福祉協議会 3月11日)

前半は地域社協から、いきいきサロンなどの活動報告がありました。

- 小出3区；深妙寺でアジサイを觀賞し、名人手打ちのそばを賞味したあと、住職の法話を聞いて交流。
- 小出島区；こども遊び場発掘プロジェクト「せせらぎ子ども広場」で子育て世代が交流。
- 沢渡区；市オリジナルの筋トレ体操実演など、筋トレ教室の活動。

後半は「自分の地域で暮らし続けたい～願いを叶えるために～」と題した講演を聴きました。講師は駒ヶ根市で“こまちゃん宅福便”を立ち上げた梶田ひと美さん。

- * これからの社会は助け合わなければ暮らせません。
- * 人は支え合う存在です。支えるだけでなく、支えられ上手になりましょう。困ったときに助けてって言える相手を今からつくっていきましょう。
- * 人任せにせず、自分のことは自分で決めましょう。

出席者は約100人。ユーゴスラビアでのお金も電気もない生活、自宅です毎年開く手作り味噌講習会など、笑ったり感心したり、楽しく聴きました。



これからの暮らしのために終活セミナー

(公民館「万年青の会」2月21日)

市高齢者福祉課から原智美さんを講師に迎え、「エンディングノート」の書き方や遺言書の書き方など、お話を聞きました。

原さんは、「誰にも等しく訪れるあの世への旅立ち。エンディングノートは自分にもしものことがあったとき、医療や介護、葬儀やお墓についてなど、家族へ要望や意志を伝えるためのノートです。同時に自分が歩んできた人生をふり返り、今後の生活を考えるためのノートでもあります。自分らしく、よりよく暮らすために役立ててください。」と説明。

参加者は、自身の経験や日頃疑問に思っていることを話題にしなが、これからの暮らし方をあらためて考える機会になりました。

ボウリングで運動不足解消

(公民館「父居屋の会」2月24日)

農作業がお休みのこの時期、運動不足を解消しようと箕輪でボウリング大会を開催しました。

会員など7名が参加し、6ゲームずつを投げて順位を決定。結果はアベレージが140を超えるハイレベルの争いになり、羽生さんが優勝、最後の最後に逆転した加納さんが2位、3位は伊藤さんでした。それぞれに豪華な賞品が贈られました。

参加者は「順位はともかく、久しぶりに気持ちのいい汗をかいた」と満足した様子。後日談では筋肉痛に悩まされた方もあったようです。

伊那の養蚕・製糸と伊那紬を学習

(公民館「女論の会」3月13日)

駒ヶ根シルクミュージアムを見学して、養蚕・製糸業発展の歴史を学習しました。また、今でも伊那紬(つむぎ)の生産を続けている唯一の工房、久保田織染工業を見学しました。

大正から昭和にかけて、伊那は養蚕がたいへん盛んでした。参加者の中には蚕を飼った経験のある方が多く、また、紬を織ったことはなくても真綿で布団をつくったことはあるという方がいて、昔を懐かしみながら展示を見たり説明を聞いたりしました。なかで養蚕・製糸業の発展に尽力した「天下の糸平」こと田中平八と、「お蚕の先生」こと飯島嘉造は、西春近に関係の深い人物で、興味をひきました。



昔懐かしい「おやき」づくり

(公民館「万年青の会」3月14日)

今回は伊那地域伝統の米粉でなく、小麦粉(中力粉)でつくりました。具材はあんこと切り干し大根。

まず、粉をふるいに掛け、ベーキングパウダーと砂糖と水を加えてこね、1時間ほどねかせてから具材を包みます。フライパンで軽く焦げめをつけ、蒸して出来上がり。皆さん昔を思い出しながら手際よくできました。

さっそく試食。「米粉のおやきより食べいい」「小麦粉の方が作りやすい」と好評でした。

伊那では秋の恵比寿講にあんこを入れた俵とカマスの形のおやきを作りました。これは、神様が出雲へ出かける時、出雲から帰ってきたときにお供えする意味があるそうです。会員の説明で初めて知りました。

4月に入園するお友だちのお別れ会

(公民館「かるがも学級」3月15日)

4月から保育園へ通う子どもさん13名を送るお別れ会を開きました。まず親子でサンドイッチ、スープ、フルーツポンチを作って会食。子どもたちはもりもり食べていました。その後、卒業証書を受け取り、メダルを首にかけてもらい、お祝いのプレゼントももらって大喜び。保育園でも友だちと仲よく元気に遊んで、心身ともに大きく成長してほしいと願っています。

男性料理教室で鶏の丸焼き

(公民館「父居屋の会」3月17日)

藤原会員の指導で“鶏の丸焼き”に挑戦し、食べたり飲んだりして今年一年をふり返りました。

第3回公民館運営審議会を開催

(公民館 3月1日)

28年度の事業報告、29年度事業計画の概要と地区負担金会計予算について、審議していただきました。

事業報告では、公民館利用者数はほぼ昨年並み、新企画「さと歩きやま歩き」「地名調査報告会」は参加者は少なかったが好評だった、などを報告。

29年度事業計画の概要では、継続事業として「まち歩き、さと歩き、やま歩き」、地名調査報告会の発展として「西春近をふり返る」などを提案。

委員からは、「権現山は、お嫁にきたお母さんたちは登った経験がない。区民登山にお母さんたちを誘ったらどうか」「北部の人は南部を、南部の人は北部をよく知らないで、地名調査報告会やよいとこウォーキングはよい機会であり、形を変えても続けたい」などのご意見をいただきました。

4～5月の行事予定

- ・4月14日(金) 防犯協会「春の防犯巡回広報活動」
- ・4月16日(日) 小出一区運動会
- ・4月21日(金) 社会福祉協議会総会、青少年育成会総会
- ・4月23日(日) 小出三区運動会、小出島区運動会
- ・4月24日(月) 高齢者クラブ総会
- ・4月25日(火) 自治協議会歓送迎会
- ・5月12日(金) 森の里親促進事業(北園高校)
- ・5月16日(火) 自治協議会小委員会

*時間など詳しいことは西春近支所・公民館へお問い合わせください(電話72-4178)。